

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	札幌保健医療大学5号館	階数	地上3F
建設地	札幌市東区中沼西4条2丁目117-357ほか	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、防火指	平均居住人員	550 人
気候区分	1地域	年間使用時間	2,880 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2016年3月1日
敷地面積	12,615 m ²	作成者	
建築面積	1,047 m ²	確認日	
延床面積	3,116 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合		A 省エネルギー
1.既存建物との調和を図るため建物の高さ、色彩等に統一感を持たせた。 2.明るくて清潔感のある環境及び空間の創造。 3.耐久性の向上。		1.LED照明の採用。 2.冷暖エアコンの集中管理。 3.冷暖房、給湯熱源の統一。 4.一部照明、水栓カランはセンサー対応。
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
1.エコマークを取得した建材(フローリング、塩ビ床材)を部分的に採用。	1.道路沿いに樹木を配列することによりまちなみの形成に努めた。	1.敷地内に雪堆積スペースを確保し、定期的に排雪を実施する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される